

# JSCA千葉ニュース（夏）

発行（社）日本建築構造技術者協会 JSCA千葉（広報委員会）  
〒262-0031千葉県千葉市中央区長州1-14-1 飯島建築構造事務所内 TEL 043(221)5131  
FAX 043(221)5133

## 特集 耐震診断・改修のための講習会開催される

去る7月10日（月）（財）日本建築防災協会および千葉県耐震判定協議会共催、JSCA千葉後援により「設計者実力養成コース」シリーズ Part IVが千葉商工会議所研修室（12F）で開催された。

設計実務者を中心に各行政担当官を含め、47名の受講者が参加した。

プログラムは3部構成で、第一部は（有）万建築設計事務所代表取締役木村秀雄氏による「耐震改修設計と工



事監理について」で、診断や材料試験に際し自分の目で見ることや感じる事の重要性、軸力の小さな変化で診断が変わる特異点があるので、その中身を吟味することの重要性を解説された。

第2部は（株）大林組技術研究所建築振動制御研究室室長 関松太郎氏による「耐震改修のための技術」

で、改修部位や改修方法によって留意すべきポイントや、良い例、悪い例を実例図集を用いて解説された。

第3部は（株）堀江建築工務研究所所長 太田勤氏による「耐震改修のための工事監理」で、補強工事は新築工事と異なる点が多いので、監理に際しその補強意図を理解する事の重要性や、補強部材の耐力メカニズムを、図表をもちいて解説された。（安田）



### 「集合住宅の生活音」

#### --そのメカニズムとクレーム対策--

講師 矢作和久氏（役員会議事録参照）

7月14日、バーデイホテルで上記の講習会が開催された。品格法・住宅性能表示制度に対する勉強会が、各地で開催される中、副題への関心も高まっており、建築関係者以外にも、複数の集合住宅管理組合理事の方が出席されていた。

なお、より詳細な同講座は、9月22日東京工業大学で開催される。問合せ先：NPO法人建築技術支援協会 TEL 03-5689-2911（安田）

## JSCA千葉役員会議事録抜粋

役員会	平成12年度第2回	音-そのメカニズムとクレーム対策	出席、飯島代表他10名
代表	飯島 宏治	5月16日(13:00~14:00)	1) 研修委員会「限界耐力法とコンピュータソフト」の講習会の計画決定。8月22日午後2時~5時、ホテルポートプラザちば(株)構造ソフト、(株)構造システム、ユニオンシステム(株)、(株)構造計画研究所の各社
総務委員会	向後 勝弘	出席、飯島代表他8名	2) 各委員会活動
	相山 誠治	1) 千葉県建築設計監理協会、JIA千葉との合併案呼びかけに対し討議、継続審議	研修委員会8月11日STRUC主催「制震ブレースを用いた耐震補強工法」の見学会、担当：市原委員。
会員委員会	服部 信幸	5月16日(13:00~14:00)	
	青木 光年	平成12年度第3回	
研修委員会	細川 正三	6月15日(18:00~20:00)	
	真崎 雄一	出席、飯島代表他8名	
	舛田 卓也	1) 総会結果報告 総会28名、講演会56名、懇親会46名出席。他団体からは、全て会長が出席された。	
広報委員会	園部 隆夫	2) 講演会「集合住宅の生活音-そのメカニズムとクレーム対策」についての計画。7月14日バーデイホテル、三井建設(株)顧問元取締役技術本部長 矢作和久氏	
	斉藤美佐男	3) 各委員会活動	
技術委員会	安田 良一	研修委員会「限界耐力法に対する各ソフトメーカーの対応についての会」を企画	
	市原 嗣久	4) 千葉県建築設計監理協会、JIA千葉との合併問題の審議、構造部会として協力して行くスタンス。	
	坂恵 一巳	平成12年度第4回	
		7月18日(18:00~20:00)	



## 会員レポート

### 「耐震改修講演会と北本市立北小学校震補強見学会」

陽建設計 服部信幸

平成12年8月11日(金)構造調査コンサルティング協会による講演会及び現場見学会が埼玉県北本市にて行われた。

講演会は、工学院大学 広沢 教授による「学校体育館や集合住宅の地震被害と耐震改修」また、日本大学 安達 教授による「制震ブレースを用いた耐震補強工法」の2講演、次に制震ブレースにて補強された北本市立北小学校の見学会、さらに補強設計及び補強工事と品質管理についての解説となった。広沢 教授の講演は、耐震診断及び補



強の解析や統計結果の資料解説、また、安達 教授の講演は摩擦制震

ブレースの外付け工法について、そのエネルギー吸収法、取り付け後の建物性能の評価等両講演とも今後の耐震補強、新工法や居ながら補強をいかに実務に取り入れて行くかを考える上で、大変参考になりました。

会員の移動 社名及び住所が変わりました。  
 ・園部 隆夫 (株)SPC設計コンサルタント  
 市川市行徳駅前2丁目14番9-305  
 TEL 047-306-9006 FAX 047-306-9007

本誌は季刊とし年4回の発行を目標としてJSCA千葉の活動状況を報告しています。皆様の声を反映させるべく、ご意見ご要望をお待ちしています。(広報委員会)

#### 講演会「限界耐力法とコンピューターソフト」

(株)SPC設計コンサルタント 園部隆夫

平成12年8月22日午後2時よりホテルポートプラザ千葉ルビーホールにて「限界耐力法とコンピューターソフト」という題目で講演会が開かれました。

「限界耐力法とコンピューターソフト」と言う新しいテーマにそって、プログラムソフト開発会社3社と設計事務所1社の計4社の御協力を頂き、午後2時から5時まで各社40分の持ち時間を厳守して頂く中、とても有意義でかつ身近な問題点を取り上げて頂いた講演会となりました。

「構造ソフト」は主にプログラムの実利用方法の具体的内容にそってインプットとアウトプットを例にとり解析の手段、理論の流れを説明されました。

「構造システム」は理論の流れを主に説明し、新しい建築基準法の全体像をわかり易く説明されました。

「ユニオンシステム」は新しい建築基準法にそって基準法上の問題点、限界耐力法に基づく検証法を実行するに当たり、部材の変形能力(靱性)をどう評価しランク付けしたら良いかと言った難しい問題等が残されている旨説明されました。

「構造計画研究所」は他の3社と置かれている立場が異なる旨説明があり、特に入力地震動に関する評価について、地盤特性の調査、評価の難しさ、性能設計への具体的対応への諸問題について説明されました。

質疑応答については、10分程の時間を確保することが出来ました。質疑応答は以下のようです。

- ・「プログラムに関する日本建築センターの評定に関しては、どのように今後扱われるのか。」  
 回答：日本建築センターとしては評定をして行く方向性との事。(構造システム)
- ・「部材の変形性能(靱性)に関する評価をどのようにするのか。その具体的方法は何か。」  
 回答：難しい問題であり後日まとめて回答したい。(構造ソフト)

講演会には30名の出席を頂き、また、メーカーの説明者13名の出席を頂くなど熱心な講演の場となり、また各社の熱意を十分感じられた講演会でありました。

### JSCA千葉技術委員会議事録抜粋(定例月1回)

技術委員会	第27回5月26日 (15:00~18:30)	第28回6月28日 (16:00~18:00)	第29回7月10日 (13:00~17:00)
委員長 市原嗣久	振動部会 西澤部会長による勉強会 出席11名	振動部会 西澤部会長による勉強会 出席11名	耐震・改修「設計者実力養成コース」PARTIV講習会 出席、JSCA千葉多数
振動部会 部会長 西澤博文	1)「だれにでもわかる振動解析」※の解説 ※西澤氏作成のテキストです。	1)「だれにでもわかる振動解析」の解説(2) 2)限界耐力の基礎知識	

8月の技術委員会は夏休みにしました。